

森と人を繋ぐ椅子

Mori:to チェア

ウインザーチェアの様式を
踏襲しながらも

日本の伝統的な木組みを用い、
現代の生活にあわせた

座り心地と

軽さを実現させた

オークヴィレッジの椅子。

森と、人と。





里山の木、コナラを使う。

※1 群馬県みなかみ町で、自伐型林業により伐り出された木材などを使用。従来は家具用材としての活用が難しいとされてきた、日本の里山の木の代表ともいえるコナラの特徴を活かす、適材適所の考え方に基づいたオークヴィレッジならではの一脚です。

※1 群馬県みなかみ町…首都圏の水源である利根川の上流に位置する町。ユネスコエコパークとして認定されている。
 ※2 自伐型林業…採算性と環境保全の両立を図る持続可能な小規模林業。



表情豊かな「座面」

座面にクリ材を使用することで全体の重さの軽減をはかるとともに、表面の座彫で木目の美しさを際立たせました。彫り跡の適度な凹凸により快適な着座感が得られます。



しなりを持つ「背」

背には成長が早く硬さとしなやかさを合わせ持つコナラ材を用いています。背に体を預けると、そのしなりが独特の座り心地を生み出します。



モリート
Mori:toチェア ¥67,000 (税別)

材種：座面／国産クリ 笠木・脚他／国産コナラなど
 サイズ：幅 49×奥行 53×高さ 85cm / 座面高さ 40.5cm
 仕上げ：植物性オイル (ナチュラル) 重さ：約 4kg